

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年5月16日(2013.5.16)

【公表番号】特表2009-536626(P2009-536626A)

【公表日】平成21年10月15日(2009.10.15)

【年通号数】公開・登録公報2009-041

【出願番号】特願2009-508190(P2009-508190)

【国際特許分類】

C 07 D 239/34 (2006.01)

C 07 D 239/38 (2006.01)

A 61 K 31/505 (2006.01)

A 61 K 45/00 (2006.01)

A 61 P 3/10 (2006.01)

A 61 P 5/48 (2006.01)

【F I】

C 07 D 239/34 C S P

C 07 D 239/38

A 61 K 31/505

A 61 K 45/00

A 61 P 3/10

A 61 P 5/48

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年3月7日(2013.3.7)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

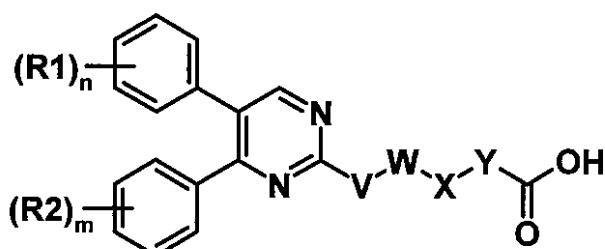
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式I:

【化1】



I

[式中、

R1、R2は、互いに独立に、(C₁-C₆) - アルキル、O - (C₁-C₆) - アルキル、NH₂、NH(C₁-C₄) - アルキル、N[(C₁-C₄) - アルキル]₂、OH、CN、F、Cl、Br、O - フェニル、CF₃、OCF₃又はOC₂H₅であり、ここで、アルキルは、F、Cl、Br又はCNで1回又はそれ以上置換されても良く；

nは、0、1、2、3、4又は5であり；

mは、0、1、2、3、4又は5であり；

Vは、O、S、SO又はSO₂であり；

Wは、結合、(C₁-C₇) - アルキレン、(C₂-C₇) - アルケニレン又は(C₂-C₇) - アルキニレンであり、ここで、アルキレン、アルケニレン及びアルキニレンは、R3で1回又はそれ以上置換されても良く；

Xは、単環式、二環式又は三環式(C₃-C₁₂) - シクロアルキル環であり、ここで、シクロアルキル環は、R4で1回又はそれ以上置換されても良く；

Yは、結合、(C₁-C₄) - アルキレン、(C₂-C₄) - アルケニレン又は(C₂-C₄) - アルキニレンであり、ここで、アルキレン、アルケニレン及びアルキニレンは、R3で1回又はそれ以上置換されても良く；

R3は、NH₂、NH(C₁-C₄) - アルキル、N[(C₁-C₄) - アルキル]₂、F、Cl、Br、CN、OH、O-(C₁-C₆) - アルキル、(C₁-C₆) - アルキル、(C₂-C₆) - アルケニル又は(C₂-C₆) - アルキニルであり、ここで、アルキル、アルケニル及びアルキニルは、F、Cl、Br又はCNで1回又はそれ以上置換されても良く；そして、

R4は、F、Cl、Br、CN、(C₁-C₄) - アルキル又はO-(C₁-C₄) - アルキルであり、ここで、アルキルは、F、Cl、Br又はCNで1回又はそれ以上置換されても良い】

の化合物、又は生理学的に許容されるその塩。

【請求項2】

R1、R2は、互いに独立に、(C₁-C₆) - アルキル、O-(C₁-C₆) - アルキル、NH₂、NH(C₁-C₄) - アルキル、N[(C₁-C₄) - アルキル]₂、OH、CN、F、Cl、Br、O-フェニル、CF₃、OCF₃又はOCH₃であり、ここで、アルキルは、F、Cl、Br又はCNで1回又はそれ以上置換されても良く；

nは、0、1、2、3、4又は5であり；

mは、0、1、2、3、4又は5であり；

Vは、O、S又はSOであり；

Wは、結合、(C₁-C₇) - アルキレン、(C₂-C₇) - アルケニレン又は(C₂-C₇) - アルキニレンであり、ここで、アルキレン、アルケニレン及びアルキニレンはR3で1回又はそれ以上置換されても良く；

Xは、単環式、二環式又は三環式(C₃-C₁₂) - シクロアルキル環であり、ここで、シクロアル

キル環は、R4で1回又はそれ以上置換されても良く；

Yは、結合、(C₁-C₄) - アルキレン、(C₂-C₄) - アルケニレン又は(C₂-C₄) - アルキニレンであり、ここで、アルキレン、アルケニレン及びアルキニレンは、R3で1回又はそれ以上置換されても良く；

R3は、NH₂、NH(C₁-C₄) - アルキル、N[(C₁-C₄) - アルキル]₂、F、Cl、Br、CN、OH、O-(C₁-C₆) - アルキル、(C₁-C₆) - アルキル、(C₂-C₆) - アルケニル又は(C₂-C₆) - アルキニルであり、ここで、アルキル、アルケニル及びアルキニルは、F、Cl、Br又はCNで1回又はそれ以上置換されても良く；そして、

R4は、F、Cl、Br、CN、(C₁-C₄) - アルキル又はO-(C₁-C₄) - アルキルであり、ここで、アルキルは、F、Cl、Br又はCNで1回又はそれ以上置換されても良い；

請求項1に記載の式Iの化合物、又は生理学的に許容されるその塩。

【請求項3】

R1、R2は、互いに独立に、(C₁-C₆) - アルキル、O-(C₁-C₆) - アルキル、OH、CN、F、Cl、Br、O-フェニル、CF₃、OCF₃又はOCH₃であり；

nは、0、1、2、3、4又は5であり；

mは、0、1、2、3、4又は5であり；

Vは、O又はSであり；

Wは、結合又は(C₁ - C₇) - アルキレンであり；

Xは、単環式、二環式又は三環式(C₃ - C₁₂) - シクロアルキル環であり、ここで、シクロアルキル環はR₄で1回又はそれ以上置換されても良く；

Yは、結合又は(C₁ - C₄) - アルキレンであり；そして、

R₄は、F、C1、Br、CN、(C₁ - C₄) - アルキル又はO - (C₁ - C₄) - アルキルである；

請求項1又は2に記載の式Iの化合物、又は生理学的に許容されるその塩。

【請求項4】

R₁、R₂は、互いに独立に、(C₁ - C₆) - アルキル、O - (C₁ - C₆) - アルキル、OH、CN、F、C1、Br、O - フェニル、CF₃、OCF₃又はOCH₃であり；

nは、0であり；

mは、0であり；

Vは、O又はSであり；

Wは、結合又は(C₁ - C₇) - アルキレンであり；そして、

Xは、単環式又は二環式(C₃ - C₁₂) - シクロアルキル環であり；そして、

Yは、結合又は(C₁ - C₄) - アルキレンである；

請求項1～3のいずれか1項に記載の式Iの化合物、又は生理学的に許容されるその塩。

【請求項5】

調合薬として使用するための、請求項1～4のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項6】

1つ又はそれ以上の請求項1～4のいずれか1項に記載の化合物を含む調合薬。

【請求項7】

1つ又はそれ以上の請求項1～4のいずれか1項に記載の化合物、及び少なくとも1つの更なる活性成分を含む調合薬。

【請求項8】

更なる活性成分として1つ又はそれ以上の抗糖尿病薬、血糖降下活性成分、HMGCoA還元酵素阻害剤、コレステロール吸収阻害剤、PPARアゴニスト、PPARアゴニスト、PPAR/アゴニスト、PPARアゴニスト、フィブロート、MTP阻害剤、胆汁酸吸収阻害剤、CETP阻害剤、ポリマー性胆汁酸吸着体、LDL受容体誘導因子、ACAT阻害剤、抗酸化剤、リボタンパク質リバーゼ阻害剤、ATPクエン酸リアーゼ阻害剤、スクアレン合成酵素阻害剤、リボタンパク質(a)アンタゴニスト、HM74A受容体アゴニスト、リバーゼ阻害剤、インスリン、スルホニル尿素、ビグアニド、メグリチニド、チアゾリジンジオン、-グルコシダーゼ阻害剤、細胞のATP依存性カリウムチャネルに作用する活性成分、グリコーゲンホスホリラーゼ阻害剤、グルカゴン受容体アンタゴニスト、グルコキナーゼの活性化剤、糖新生の阻害剤、フルクトース-1,6-ビスホスファターゼの阻害剤、グルコーストランスポーター4(GLUT4)の調節剤、グルタミン-フルクトース-6-リン酸アミドトランスフェラーゼの阻害剤、ジペプチジルペプチダーゼIV(DPP-IV)の阻害剤、11--ヒドロキシステロイドデヒドロゲナーゼ1の阻害剤、タンパク質チロシンホスファターゼ1Bの阻害剤、ナトリウム依存性グルコーストランスポーター1又は2の調節剤、ホルモン感受性リバーゼの阻害剤、アセチル-CoAカルボキシラーゼの阻害剤、ホスホエノールピルビン酸カルボキシキナーゼの阻害剤、グリコーゲン合成酵素キナーゼ3の阻害剤、プロテインキナーゼCの阻害剤、エンドセリンA受容体アンタゴニスト、I-Bキナーゼの阻害剤、グルココルチコイド受容体の調節剤、CARTアゴニスト、NPYアンタゴニスト、MC4アゴニスト、オレキシンアンタゴニスト、H3アゴニスト、TNFアゴニスト、CRFアンタゴニスト、CRF-BPアンタゴニスト、ウロコルチンアゴニスト、3アゴニスト、CB1受容体アンタゴニスト、MSH(メラニン細胞刺激ホルモン)アゴニスト、CCKアゴニスト、セロトニン再取り込み阻害剤、混合セロトニン作動性及びノルアドレナリン作動性化合物、5HTアゴニスト、ポンベシンアゴニスト、ガラニンアンタゴニスト、成長ホルモン、成長ホルモン放出化合物、TRHアゴニスト、脱共役タンパク質2又は3調節剤、レ

プチンアゴニスト、D A アゴニスト、リパーゼ / アミラーゼ阻害剤、P P A R 調節剤、R X R 調節剤若しくはT R - アゴニスト又はアンフェタミンを含む、請求項 7 に記載の調合薬。

【請求項 9】

血糖を降下させる医薬品を製造するための、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の化合物の使用。

【請求項 10】

糖尿病を治療する医薬品を製造するための、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の化合物の使用。

【請求項 11】

インスリン放出を増加させる医薬品を製造するための、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の化合物の使用。

【請求項 12】

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の化合物の 1 つ又はそれ以上を含む調合薬の製造方法であって、活性成分を薬学的に適切な担体と混合し、そしてこの混合物を投与に適切な形態に変換することを含む製造方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 4

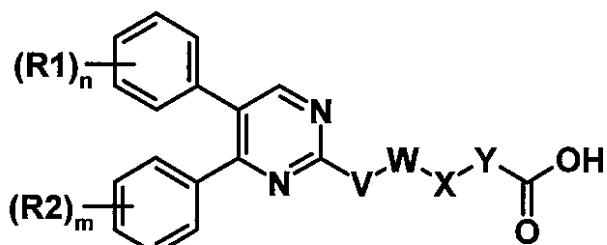
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 4】

従って、本発明は、式 I :

【化 1】



式中、

R 1、R 2 は、互いに独立に、(C₁ - C₆) - アルキル、O - (C₁ - C₆) - アルキル、NH₂、NH(C₁ - C₄) - アルキル、N[(C₁ - C₄) - アルキル]₂、OH、CN、F、Cl、Br、O - フェニル、CF₃、OCF₃又はOC₂H₅であり、ここで、アルキルは、F、Cl、Br 又は CN で 1 回又はそれ以上置換されても良く；

n は、0、1、2、3、4 又は 5 であり；

m は、0、1、2、3、4 又は 5 であり；

V は、O、S、SO 又は SO₂ であり；

W は、結合、(C₁ - C₇) - アルキレン、(C₂ - C₇) - アルケニレン又は(C₂ - C₇) - アルキニレンであり、ここで、アルキレン、アルケニレン及びアルキニレンは、R₃ で 1 回又はそれ以上置換されても良く；

X は、单環式、二環式又は三環式(C₃ - C₁₂) - シクロアルキル環であり、ここで、シクロアルキル環は、R₄ で 1 回又はそれ以上置換されても良く；

Y は、結合、(C₁ - C₄) - アルキレン、(C₂ - C₄) - アルケニレン又は(C₂ - C₄) - アルキニレンであり、ここで、アルキレン、アルケニレン及びアルキニレンは、R₃ で 1 回又はそれ以上置換されても良く；

R₃ は、NH₂、NH(C₁ - C₄) - アルキル、N[(C₁ - C₄) - アルキル]₂、F、

C 1、Br、CN、OH、O - (C₁ - C₆) - アルキル、(C₁ - C₆) - アルキル、(C₂ - C₆) - アルケニル又は(C₂ - C₆) - アルキニルであり、ここで、アルキル、アルケニル及びアルキニルは、F、Cl、Br又はCNで1回又はそれ以上置換されても良く；そして、

R 4 は、F、Cl、Br、CN、(C₁ - C₄) - アルキル又はO - (C₁ - C₄) - アルキルであり、ここで、アルキルは、F、Cl、Br又はCNで1回又はそれ以上置換されても良い；の化合物、及び生理学的に許容されるその塩に関する。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0005

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0005】

好ましくは、式Iの化合物であって、1つ又はそれ以上の基が以下の意味：

R 1、R 2 は、互いに独立に、(C₁ - C₆) - アルキル、O - (C₁ - C₆) - アルキル、NH₂、NH(C₁ - C₄) - アルキル、N [(C₁ - C₄) - アルキル]₂、OH、CN、F、Cl、Br、O - フェニル、CF₃、OCF₃又はOCH₃であり、ここで、アルキルはF、Cl、Br又はCNで1回又はそれ以上置換されても良く；

n は、0、1、2、3、4 又は 5 であり；

m は、0、1、2、3、4 又は 5 であり；

V は、O、S 又は SO であり；

W は、結合、(C₁ - C₇) - アルキレン、(C₂ - C₇) - アルケニレン又は(C₂ - C₇) - アルキニレンであり、ここで、アルキレン、アルケニレン及びアルキニレンは、R 3 で1回又はそれ以上置換されても良く；

X は、単環式、二環式又は三環式(C₃ - C₁₂) - シクロアルキル環であり、ここで、シクロアルキル環は、R 4 で1回又はそれ以上置換されても良く；

Y は、結合、(C₁ - C₄) - アルキレン、(C₂ - C₄) - アルケニレン又は(C₂ - C₄) - アルキニレンであり、ここで、アルキレン、アルケニレン及びアルキニレンは、R 3 で1回又はそれ以上置換されても良く；

R 3 は、NH₂、NH(C₁ - C₄) - アルキル、N [(C₁ - C₄) - アルキル]₂、F、Cl、Br、CN、OH、O - (C₁ - C₆) - アルキル、(C₁ - C₆) - アルキル、(C₂ - C₆) - アルケニル又は(C₂ - C₆) - アルキニルであり、ここで、アルキル、アルケニル及びアルキニルは、F、Cl、Br又はCNで1回又はそれ以上置換されても良く；そして、

R 4 は、F、Cl、Br、CN、(C₁ - C₄) - アルキル又はO - (C₁ - C₄) - アルキルであり、ここで、アルキルは、F、Cl、Br又はCNで1回又はそれ以上置換されても良い；

を有する化合物、及び生理学的に許容されるそれらの塩である。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0006

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0006】

特に好ましくは、式Iの化合物であって、1つ又はそれ以上の基が以下の意味：

R 1、R 2 は、互いに独立に、(C₁ - C₆) - アルキル、O - (C₁ - C₆) - アルキル、OH、CN、F、Cl、Br、O - フェニル、CF₃、OCF₃又はOCH₃；

n は、0、1、2、3、4 又は 5 であり；

m は、0、1、2、3、4 又は 5 であり；

Vは、O又はSであり；

Wは、結合又は($C_1 - C_7$) - アルキレンであり；

Xは、単環式、二環式又は三環式($C_3 - C_{12}$) - シクロアルキル環であり、ここで、シクロアルキル環は、R4で1回又はそれ以上置換されても良く；

Yは、結合又は($C_1 - C_4$) - アルキレンであり；そして、

R4は、F、Cl、Br、CN、($C_1 - C_4$) - アルキル又はO - ($C_1 - C_4$) - アルキルである；

を有する化合物、及び生理学的に許容されるそれらの塩である。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0007

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0007】

更に特に好ましくは、式Iの化合物であって、1つ又はそれ以上の基が以下の意味：

R1、R2は、互いに独立に、($C_1 - C_6$) - アルキル、O - ($C_1 - C_6$) - アルキル、OH、CN、F、Cl、Br、O - フェニル、CF₃、OCF₃又はOCH₃であり；

nは0であり；

mは0であり；

Vは、O又はSであり；

Wは、結合又は($C_1 - C_7$) - アルキレンであり；

Xは、単環式又は二環式($C_3 - C_{12}$) - シクロアルキル環であり；そして、

Yは、結合又は($C_1 - C_4$) - アルキレンである；

を有する化合物、及び生理学的に許容されるそれらの塩である。